



消防だより

3月の広報テーマ
「応急手当の普及啓発」

119

あ あなたの身近で誰かが急に倒れたら、あなたはどうしますか？

突然の事故や病気など救急車を呼ぶような場面に遭遇したとき、救急隊や医師が来るのを待たず、なぜ手当を行う必要があるのでしょうか？

救急車到着までの空白の時間

救 急車が要請を受けてから現場に到着までの平均時間は全国で5〜6分です。たかが5分、しかし、この空白の5分間が傷病者の生命を大きく左右することになります。

例えば、心臓停止の傷病者を3分間放置しただけで、死亡率は実に50%となり、5分後にはさらに高率となります。

早い時間に手当が開始されれば、それだけ救命率が高くなることは当然のことです。



救命の連鎖(チェーンオブサバイバル)

「突 然の心停止」を起こした傷病者では、「救命の連鎖」が迅速かつ連続的に行われることが重要です。

この救命の連鎖は、早い通報・早い心肺蘇生・早い除細動・早い2次救命処置(高度医療)によって命を救う連鎖です。どれが欠けても、目の前に倒れている人を救うことはできません。

今では早い除細動の重要性の観点から、一般住民の方がAED(自動体外式除細動器)を使えるようになり、傷病者の救命率の向上に大きく関わってくる

ことが期待されます。洞爺湖消防署では、一人でも多くの方に応急手当を覚えていただくため、定期的に講習会を開催しています。洞爺湖消防署 ☎76-2119 又は温泉分署 ☎73-1119 まで申し込みください。

消防水利除雪のお礼

蛇 田町には消防水利の消火栓が160基、防火水槽が31基設置されています。消防では、定期的に水利周辺の除雪(夏は草刈り)を行っていますが、職員が巡回するところ近所の方のご協力で、すでに除雪されている所が数カ所ありました。

今年には特に雪の多い中でご協力いただきありがとうございます。

1月の火災救急 480件

わたしのうた

短歌 【あぶた短歌会】一月定例会より

まわりつつ触れあひつつ地のものを
清く鎮めて今朝の雪降る
赤塚瑛子

悲喜交々の過ぎ来しを思ふ
八十坂を越えなむ友の重き賀状
筆太ぶと、添えがき嬉し
斎藤テツ

いとやわらかに一碗食みぬ
削りぶし湯気にごきて雑煮餅
大西芳子

孫をたよりにひたすら雪掻く
どか雪はまだふりつづく昨日今日
中野イマ

夜のコンビニそつと覗きぬ
アルバイトに孫が行きしと聞きたれば
北島加代

未會有の雪に精根尽きぬ
これでもかと正月早々降り続く
太田智

あたら命を奮はれしとぞ
豪雪より家守らむとしてその量に
山木孝

雪はれて一斉に出て除雪する
子供もママに着きて運べり
今静峰

そうつと置きゆく長男の嫁
文をそえわれへのお年玉仏壇に
伊藤静子

詠ひてゆかむ円かなる歌を
あたたかき湾のほとりに反ら居て
大久保とみ乃

那須伶子
瀬川 絵
矢野知子
井村育子
岩木秋水
菅原敏子
三瓶 修
小笠原 勇
塩川サチ子

俳句 【あぶた俳句会】二月定例会より

今日一日二月の雫聞きてをり
遠嶺に影を落すや冬の雲
那須伶子

町名の変はる最後の二月かな
黒髪をひつつめてきし初句会
矢野知子

口も手も速き看護師来て師走
日溜まりの木場にたむろふ恋の猫
井村育子

吉報も渋滞がちの二月かな
チヨコレート句会に出され二月かな
菅原敏子

寒夕焼白樺林押し広げ
かんやけ
小笠原 勇
塩川サチ子